

ほうおんこう

『報恩講』ってなに？

報恩は恩おんに報むくいる、講こうは人々の集まり、つまり恩に報いる人々の集まりです。

では、恩おんってなんでしよう？

恩おんはめぐみ、恩恵おんけいです。報恩講ほうおんこうは、阿弥陀あみださまの本願ほんがんのおこころを明らかにしてください。親鸞しんらんさまの御遺徳ごいとくを偲しのび、そのご恩おんに「ありがとう」と感謝する思いからお勤めされる、浄土真宗のみ教えをいただく私たちにとって一年を通してもっとも大切なご法要ごぼうぎょうです。

浄土真宗じゆつしんしゆは、「阿弥陀あみだ如来にょらいの本願力ほんがんりきによって信心しんじんをめぐまれ、念仏ねんぶつを申もうす人生じんせいを歩あゆみ、この世よの縁えんが尽つきるとき浄土じゆどに生まれうまれて仏ぶつとなり、迷まよいの世よに還かえって人々ひとびとを教化きやうけする」というみ教えです。【浄土真宗の教章（私の歩む道）より】

阿弥陀あみださまは、「必ずかならずすくう、私わたしにまかせよ」と私わたしにはたらいてくださり、親鸞しんらんさまはそのみ教えを私わたしたちに伝えてくださいました。

なぜ阿弥陀あみださまは私わたしをすくおうとしてくださるのか、なぜ親鸞しんらんさまは阿弥陀あみださまの教えをそのご生涯しんがいかをかけて伝えてくださったのか。

そのご恩おんに気づかされた時、自分自分だけしか頼たのりにしない私わたしが、本当ほんとうは自分自分だけで生なきているのではなく、あらゆるものものに支たえられて生なかされている事こと、そして多くの願ねがいに支たえられている事ことに気づかされるでしょう。

阿弥陀あみださまが私わたしをすくおうとはたらいてくださるご恩おんに「ありがとう」。

私わたしをお念仏ねんぶつに導みちいてくださった親鸞しんらんさまのご恩おんに「ありがとう」。

命いのちをつないでくださった親おんの恩おん、私わたしの命いのちを支たえてくださるすべての命いのちやご縁えんに「ありがとう」。